



▼今月は、1学期に学習した主な内容を復習します。

1年

〈10までの かず・なんばんめ〉

- 数を数えるときは、数えまちがえないようにしをつながら数えましょう。落ちや重なりがなくなります。「2ばんめ」という言い方に慣れましょう。

〈いくつと いくつ〉

- 合わせて10にしたり、10を2つに分けたりする勉強は、くり上がりのあるたし算やくり下がりのあるひき算のもとになります。反射的に答えられるまで練習しましょう。



〈たしざん〉

- 「あわせて」「ふえると」「みんなで」など、たし算になる言葉を知って、「+」「=」の記号を正しく使いましょう。

〈ひきざん〉

- 「ちがいは」「のこりは」など、ひき算になる言葉を知って、「-」「=」の記号を正しく使いましょう。「-」の左側には、大きいほうの数を書きます。問題に出てきた順に数字を書きやすいので、注意しましょう。

2年

〈時こくと 時間・ひょうと グラフ〉

- 数を数えて、表やグラフに表す復習をしましょう。
- 時刻と時刻の間の時間（〇分、〇時間）を求める問題では、短い針や長い針がどれだけ進んだかに注目しましょう。



〈1000までの 数〉

- 「403」を「43」と書くなど、「0」を書き忘れないように注意します。また、数の大小を比べる問題では、上の位から下の位へと順に比べましょう。

〈2けたの たし算〉

- たし算の筆算では、位をきちんとそろえて書き、くり上がりに気をつけて、一の位から順に計算します。くり上げた数を小さく書いておくと、くり上がりを忘れないでしょう。

〈2けたの ひき算〉

- ひき算の筆算では、位をきちんとそろえて書き、くり下がりに気をつけて、一の位から順に計算します。くり下げたあの数を小さく書いておくと、まちがえないでしょう。計算ができたら、答えの確かめもしましょう。

3年

〈かけ算〉

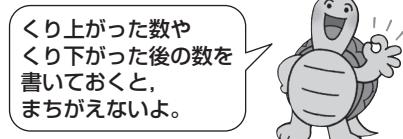
- かけ算のきまりや、かけられる数やかける数が0や10の場合のかけ算を復習します。

〈わり算〉

- わり算の考え方を復習します。
- (1)全部の数を、分ける人数でわると、1人分の数が求められる。
全部の数を、1人分の数でわると、分けられる人が求められる。
- (2)わる数の段の九九を使って、答えを求める。
- (3)0を、0でないどんな数でわっても、答えは0。
- かけ算九九をしっかり復習しておきましょう。

〈たし算とひき算の筆算〉

- たし算やひき算の筆算では、位をそろえて書くこと、くり上がりやくり下がりをわすれないことがポイントになります。



〈時こくと時間〉

- 今から何分後、何分前の時刻や、間の時間が何分かを求めます。1日の予定から問題をつくり、実際に計算してみましょう。